

令和元年度 日之影町立日之影中学校 学校評価

- 「評価」について、目標の達成度に基づき、次の4段階で評価を行う。
 4:期待以上、 3:期待どおり、 2:やや期待を下回る、 1:改善が必要
 ○「評価者」…「第一次」:学校による自己評価、「第二次」:保護者評価、「第三次」:教育懇話会委員評価

評価項目	達成目標と方策	第一次評価者所見	評価		
			第一次	第二次	第三次
学力向上	1 地域の資源（ひと・もの・こと）を活用したキャリア教育の拡充に努め、学びに向かう力や進路実現への意欲を向上させる。	職場学習や校内ハローワーク、ヒノカフェなど、地域人材と連携したキャリア教育を実施し、将来の生き方を考えさせながら学びに向かう力を高める取組を行った。次年度以降も継続し、効果を検証していく必要がある。	3	3	4
	2 ICT活用や指導法の工夫などによる分かりやすい授業実施に努め、活用する力を含めた学力向上を推進する。	全職員が、授業におけるICTの効果的活用に取り組むと共に、授業やテスト問題作成の工夫等による「活用力」の育成に取り組んだ。今後も更なる取組が必要である。	3	3	3
	3 生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導・支援に努め、基礎的な学力の定着を図る。	授業の中に「ふり返り」と「見届け」を設定したり、授業内外での個別指導や補充学習などにより、基礎的な学力の定着を支援している。今後も、更なる支援の手立てを工夫していく必要がある。	3	2	3
	4 NIE(新聞活用)や読書活動、資料活用などを推進し、「読解力向上」につながる技能を高める。	NIEコーナーの設置や読書活動及び新聞活用などを推進してきたが、読解力の向上に関しては、今後も、より質の高い取組を工夫していく必要がある。	3	3	3
生徒指導・心の教育	1 道徳教育や人権教育の充実に努め、ふるさとの自然を大切にし他人への思いやりにあふれた心を育む。	計画的な道徳の授業実施や講演会、掲示教育、ピアサポート活動などをおして、道徳教育や人権教育の充実に努めている。	3	3	3
	2 一人一人の生徒に寄り添った支援や声かけに努めながら、生徒の自尊感情を高め、何事にも前向きに取り組む姿勢を育む。	全職員による生徒理解の時間を毎週設けたり、生徒へのアンケートを毎月実施したりしながら、生徒に寄り添った支援や声かけ、賞賛などに努めている。今後も、全職員による取組を継続していきたい。	3	3	3
	3 各行事や学習活動における生徒の活躍の場や活動の支援充実に努め、生徒が何事にも主体的に取り組む力（ひいては社会でたくましく生きる力）を育む。	生徒会各委員会による行事の企画・運営場面や、活動の活性化方策を考えさせたりする場面を拡充すると共に、生徒たちの対話場面も増やした。今後も、全生徒の主体的な取組拡充に努めたい。	3	3	3
体力向上・安全指導	1 授業や体育的行事、部活動などの充実に努め、子どもたちの心身の健康や体力を向上させる。	外部講師と連携した授業や講話の他、昼休みにおける体育館や運動場での運動促進などをおして、心身の健康や体力向上に取り組んだ。	3	3	3
	2 保健関係の通信や連絡等による家庭・地域との連携強化や校内での啓発教育により、生徒や家庭の意識を高める。	保健便りの定期発行や各種受診・治療等の連絡、更には保健室前の掲示物の工夫などにより、家庭との連携や生徒への啓発に努めている。	3	3	3
	3 部活動については、限られた時間や少人数の効果的な活用に努め、活動内容を充実させるとともに一定の成果をあげる。	少ない部員数と限られた時間という制約の中で、外部指導者と連携するなどして活動の充実に努めた。今後も部員の実態把握や保護者との連携強化などにより、更なる活動の工夫・充実に努めていく必要がある。	3	3	3
家庭・地域との連携	1 地域の資源（ひと・もの・こと）を積極的に活用し、地域との協働による教育の実践に努め、子どもたちに郷土愛や将来の夢を育む。	特に総合的な学習の時間や行事などにおいて、地域人材や企業と連携・協働した教育に取り組むとともに、生徒のボランティア活動の促進にも努めた。こうした取組を今後も継続し、生徒の意識を高めさせていきたい。	4	3	4
	2 学校だよりやホームページ等を活用した学校教育の情報発信に努め、地域やPTAと連携した教育を推進する。	校長便りやホームページの内容拡充、学級通信等による情報発信に努めた。また、PTA活動の効率的運営にも取り組んだ。今後も、保護者や地域への情報発信や社会教育の活用などに努めていきたい。	3	3	3